

細三谷代より平道三細三谷代より函申上りたてり  
 此山宗主より所願書提出二日、所願書提出三日附以平道六  
 谷代函書提出二日、所願書提出二日、所願書提出二日  
 函申上りたてり  
 平道六谷代より函申上りたてり  
 細三谷代より函申上りたてり  
 細三谷代より函申上りたてり

受 發 第 二 〇 〇 號	裁 決 定	月 日	發 送	月 日
---------------------------------	-------------	--------	--------	--------

昭和二十二年 之月 七 日起案

學校長  


名件  
 言橋新教授スキー登山講習会講師より派遣承認の件

中案  
 校長

北海道教育部長渡邊捨男宛

拜復本月二十日付より八月末十勝岳に於て開催せらるるスキー  
 登山指導員講習会講師より本校新教授言橋新氏を派遣  
 するに依りて、本校より承認の件、又、言橋新氏より承認の件、

六二

卜摩高等商業学校

敬啟者、本校に於て、  
 明治三十二年四月、  
 創立十周年記念式典  
 開催に際し、貴校より  
 御指導賜り、誠に  
 御座り申上り。此後  
 貴校の発展に、本校  
 としても、御協力  
 いたし、御座り申上  
 り。

北海道廳

謹啓

余、素の如く、御勇健の段、慶賀の至りに存じます。

折々、今般スギ、登山指導者の養成を目途として

別紙要綱に依り講習會を開催致すこととなりまし

た。については御繁忙の折、柄洵に恐縮に存じますが

貴、高橋次郎 氏を御派遣の上、御指導賜りたく

仰依頼申上り申上ります。

昭和三年二月二十八日

北海道教育部長 渡辺信男



小樽高等師範学校長 殿

六三 二〇〇

# スキー登山指導者講習会要綱

一 目的  
一般スキー術並にスキー登山指導者を養成して一般スキー術の向上と冬山登山の奨励を期するを目的とする。

二 主催  
北海道スキー聯盟

三 期日  
三月二十五日から二十八日まで(三泊四日間)

四 会場  
空知郡上富良野村十勝岳(富良野線上富良野駅下車約十六分)  
富泊所 十勝岳白銀荘(富良野線十勝岳駅下車約十分行)  
中茶屋まで十分行向馬場の使あり

五 集合及解散  
一 集合 三月二十五日午前八時上富良野駅前集合  
二 解散 三月二十八日午前十時

六 講師  
北海道庁 教育部長 渡辺 捨男  
北海道スキー聯盟会長 小樽専事長 高橋 次郎  
北海道庁事務官 北海道体育会理事 藤原 信三  
札幌管区気象台 観測部長 佐藤 謙一  
北海道南口大雪山山岳部長 教授 大崎 誠二  
旭川スキー聯盟 山岳部長 橋本 誠夫  
旭川スキー聯盟 登山部長 大瀨 忠良

七 受講者資格及人員  
各支庁市に於ける山口望指導者で本講習会終了後支庁市に於て講習会等の  
指導者になり得る者で支庁長(市長)並に北海道スキー聯盟会長の推薦によるもの  
約三十名

八 受講者申込期日  
三月十五日 北海道庁社会教育課に必着のこと。

九 申込書  
打返し受講許可の通知状を乗車券購入券と共に直接本人宛発送する。

十 往復旅費(自弁) 汽車賃、馬車賃

十一 乗車券 購入並にスキー車内持込に於ては主催に於て手配する。

十二 宿泊料 茶拾(講習会場に受ける)

十三 服装  
スキー登山に適する服装(ア、トラック、防寒の風装備品を必携のこと)

十四 携行品  
(一) 入替(雨具一式) シールワック ス修繕具等を含む) 洗面用具、筆記具、電池、防寒具、飯盒、  
アイゼン(受講者にて準備すること) 王冠者靴に若干の準備あり) 三折傘、細引(巻  
飯米(三十五日の夕食分) 二十八日昼食まで九人食分約二升)  
(二) 味噌(二食十割の割合六食分) 塩(若干) 醤油(若干) 野菜(馬鈴薯) 王冠心人参  
大根(若干) 以上共同炊事用

十五 副食 肉食、携帯食料、持薬等以上各自用

十六 其の他